2026年11月2日
J.フロント リテイリング株式会社

2026年10月度　J.フロント リテイリング　百貨店事業　売上速報

※当社は2017年度から国際会計基準（ＩＦＲＳ）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、ＩＦＲＳ売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。
※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。
※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、ＩＦＲＳの確定値により毎月中旬に開示します。

■ 店舗別売上高対前年増減率（%）

店舗	１０月度	下期累計	店舗	１０月度	下期累計
大丸 心斎橋店	13.0	11.5	松坂屋 名古屋店	▲8.7	▲9.7
大丸 梅田店	▲38.9	▲38.5	松坂屋 上野店	10.4	1.8
大丸 東京店	8.5	9.2	松坂屋 静岡店	0.6	2.1
大丸 京都店	11.3	10.7	松坂屋 高槻店	6.3	3.7
大丸 神戸店	9.4	9.0	**店　　計**	2.5	1.8
大丸 須磨店	4.8	4.8	法人・本社等	▲26.4	▲33.1
大丸 芦屋店	9.7	10.4	**大丸松坂屋百貨店合計**	0.9	▲0.4
大丸 札幌店	12.9	15.0	博多大丸	15.0	15.6
大丸 下関店	▲1.7	▲2.0	高知大丸	8.1	3.9
			百貨店事業合計	1.9	0.6

＜ご参考＞ 松坂屋名古屋店取扱高対前年増減率（%）

店舗	１０月度
松坂屋 名古屋店	6.2

※ 2026年6月より、総額売上高に加え、取扱高を開示します。
取扱高は、松坂屋名古屋店の商品売上高、定借テナント取扱高を合計して算出しています。

■ 概　況

・ １０月度の売上高は、前年の万博会場売上の反動減や梅田店の大型改装に伴う売場縮小が持続しているものの、外商売上、免税売上が前年実績を上回ったことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では、対前年0.9%増（除く梅田店同4.5%増）、百貨店事業合計では、同1.9%増（除く梅田店同5.2%増）となった。
・ 大丸松坂屋百貨店の店計売上高（除く法人・本社等）は、対前年2.5%増（除く梅田店同6.4%増）となった。
・ 店舗別では、１５店舗中１２店舗が前年実績を上回り、心斎橋店、京都店、札幌店、上野店、博多大丸が対前年２桁増となった。
・ 松坂屋名古屋店の商品売上高および周辺店舗の定借テナント取扱高を合算した取扱高は、対前年6.2%増となった。
・ 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は、対前年15.8%増（除く梅田店同20.2%増）となった。
客数が対前年▲0.7%減（除く梅田店同7.4%増）、客単価が同16.7%増（除く梅田店同12.0%増）となった。
・ 大丸松坂屋百貨店合計の国内売上高（除く免税売上高）は、対前年▲1.7%減（除く梅田店同1.7%増）、店計売上高（除く法人・本社等）は、対前年▲0.1%減（除く梅田店同3.7%増）となった。

お問い合わせ先　　Ｊ.フロント リテイリング株式会社　コーポレートコミュニケーション室
ＩＲ推進担当　　０３－６８６５－７６２１
グループ広報担当　　０３－６８６５－７６１６